

都合好く説明せられる。然も假令この風習の存したことを證し得ないにしても、使者の疾走を海東青鶻の飛ぶこと
迅いの比して生じた名稱であるとも考へ得られないではない。¹⁶ 畢竟海青といふ名稱を牌名に冠せしめることにな
つた由來はこれ等の點にあるであらうが、この名稱に伴うて、海青牌面には海東青鶻の形を刻出したものであつた
ことは疑無い事實である。即ちマルコ・ポロの記すところに據ると、

¹⁶ある大王等には、上に *Gerfalcons* を附した牌を與へた。

といふて居る。ユールはこれに註して、

著者(即ちマルコ・ポロ)以外には *Gerfalcon* (*Shonkār*) を附した牌に關して説いたものを認むるを得ない、しかしエ
ルドマン (*Erdmann*) に據ると、サライ (*Sarai*) に於て鑄造せられた金黨汗國の或る貨幣には *Shonkār* が
見える。

といひ、またエルドマンの説を註付して、

Hammer の引用した *Wassáf* の記事中には、*Arghun Khan* から *Siraz* の知事に任せられた *Sayad Imámud-*
din は、蒙古の權力委任の二つの記號である金の獅子頭と金の猫の頭とを授與せられたといふ語が見える。思
ふにこれは猫の頭ではなくして、*Gerfalcon* の頭といふたら一層完全であつたであらう。……下に示した圖
(口繪第 四圖)は *Iconium* 即ちポロの言ふ *Conia* の或る門の上に彫刻せられた通例の *Gerfalcon* の像を示したる
ものであるが、その頭は俗に書いた猫の頭と容易に誤られるもので、中世の建築に於て、猫の頭と稱せられる
無恰好な形と著しく類似して居るものである